平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月6日

上場会社名　株式会社JBイレブン　　上場取引所　名
コード番号　3066　URL　http://www.jb11.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 新美　司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 亀岡　巧　TEL 052-629-1100

四半期報告書提出予定日　平成25年8月7日　配当支払開始予定日　未定
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,357	5.0	△2	—	△3	—	△16	—
25年3月期第1四半期	1,292	—	14	—	7	—	△9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△10.06	—
25年3月期第1四半期	△5.94	—

当社は24年3月期より決算期を毎年6月30日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、25年3月期第1四半期(4月から6月まで)と、比較対象となる24年3月期第1四半期(7月から9月まで)の月度が異なるため、25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,957	974	24.6
25年3月期	3,940	1,000	25.4

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　974百万円　25年3月期　999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,912	8.2	46	△46.9	33	△52.5	5	△85.5	3.23
通期	5,769	7.7	143	△6.0	117	△8.9	46	126.5	27.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	1,666,100 株	25年3月期	1,665,900 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	316 株	25年3月期	316 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	1,665,692 株	25年3月期1Q	1,665,605 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P 1「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 1
（１）経営成績に関する説明 …… 1
（２）財政状態に関する説明 …… 1
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 1
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
３．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
第１四半期累計期間 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間（平成25年４月１日から６月30日までの３か月間）の経済概況は、世界経済の緩やかな持ち直しがあり、国内では歴史的円高の修正等に伴い、輸出産業を中心とした企業の業績が改善し、雇用・消費等の回復感も現れ始めました。

外食産業では、一方的なデフレ進行や飲食支出減少には終止符が打たれつつあるものの、オーバーストアによる企業間競争の激しさは変わらない中、原材料価格・エネルギーコストの上昇が続きました。

このような環境下で当社は、当第１四半期会計期間に「一刻魁堂」１店舗（アピタ長久手店）および「ロンフーダイニング」２店舗（ゆめタウン久留米店・イオンモール大坂ドームシティ店）の計３店舗を新規出店する一方で、「一刻魁堂」サンストリート浜北店を契約満了により退店しました。また「一刻魁堂」２店舗、「ロンフーダイニング」１店舗で、リニューアル改装を実施しました。

以上により、当第１四半期会計期間末の店舗数は75店舗（前年同期比５店舗の増加）となり、業態別の店舗数は、「一刻魁堂」60店舗（同１店舗の増加）、「ロンフーダイニング」15店舗（同４店舗の増加）となりました。

営業面では、今期の出店が当第１四半期会計期間ならびに続く第２四半期会計期間の初めに集中するため、それら新店の開業準備ならびに営業安定化に注力しました。

業態別に、「一刻魁堂」では、例年の季節商品「冷やし中華」に加え、新たな試みで「ガスパチョ風つけタレ/野菜サラダつけ麺」を４月より販売開始し、日を追う毎に販売数を伸ばしました。またこれまでのメニュー品目を大幅に絞り込むと共に品質と価格の抜本見直しを図り、今一度ラーメン専門店としての焦点を明確にした派生業態として「一刻魁堂/真一刻(いっこくさきがけどうしんいっこく)」を開発し、６月にイオンモール岡崎店を「一刻魁堂/真一刻」としてリニューアルオープンさせ、大幅な売上の伸びを実現しました。

「ロンフーダイニング」では、引き続き、季節限定チャーハン・季節野菜のマーボ・季節の期間限定デザートを展開すると共に、ドリンク・デザートメニューならびにコースメニューのリニューアルも行いました。

これらの結果、天候の影響もあり期間前半の売上が低調であったことが影響し、既存店売上高は前年同期比0.2%減少しました。また、原価面では、米や豚肉の仕入単価の上昇により、売上原価率が前年同期比1.1ポイント悪化しました。

以上によりまして、当第１四半期累計期間の売上高は、1,357百万円（前年同期比5.0%増加）となりました。

利益面では、原材料価格の上昇や新店開業費用の期間集中が響き、営業損失２百万円(前年同期間は営業利益14百万円)、経常損失３百万円（前年同期間は経常利益７百万円）となりました。

また、改装に伴う固定資産除却損として特別損失２百万円を計上し、最終利益につきましては四半期純損失16百万円（前年同期間は四半期純損失９百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間末における流動資産は671百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が13百万円増加したためであります。

固定資産は3,286百万円となり、前事業年度末に比べ４百万円増加しました。主な要因はその他の有形固定資産が47百万円減少した一方、３店舗の新店および３店舗のリニューアル改装に伴う有形固定資産の取得に伴い建物が39百万円、ＩＴ投資に伴う無形固定資産が11百万円増加したためであります。

流動負債は1,442百万円となり、前事業年度末に比べ55百万円増加しました。主な要因は短期借入金が120百万円増加した一方、未払法人税等が31百万円、その他流動負債が33百万円減少したためであります。

固定負債は1,540百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円減少しました。主な要因はその他固定負債が13百万円減少したためであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も厳しい経営環境が続くものと予想され、予断を許さない状況にありますが、現時点におきまして、平成25年５月８日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	404,238	417,763
売掛金	13,368	16,216
預入金	93,474	79,584
製品	12,739	13,309
仕掛品	27,731	31,709
原材料及び貯蔵品	13,051	14,133
その他	93,746	98,502
流動資産合計	658,349	671,218
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,516,808	1,556,564
土地	588,273	588,273
その他（純額）	410,751	363,260
有形固定資産合計	2,515,833	2,508,098
無形固定資産		
その他	32,048	43,703
無形固定資産合計	32,048	43,703
投資その他の資産		
差入保証金	508,654	513,446
その他	225,658	221,092
投資その他の資産合計	734,313	734,539
固定資産合計	3,282,194	3,286,341
資産合計	3,940,544	3,957,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,756	143,879
短期借入金	－	120,000
1年内返済予定の長期借入金	651,631	676,445
1年内償還予定の社債	42,000	42,000
未払法人税等	46,502	14,885
賞与引当金	21,127	11,629
資産除去債務	2,298	2,301
その他	463,929	430,903
流動負債合計	1,386,246	1,442,045
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,288,479	1,286,256
退職給付引当金	24,067	24,997
資産除去債務	41,850	42,999
その他	169,658	156,277
固定負債合計	1,554,054	1,540,529
負債合計	2,940,301	2,982,574

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	624,555	624,619
資本剰余金	343,614	343,677
利益剰余金	30,967	5,882
自己株式	△208	△208
株主資本合計	998,929	973,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	628	353
評価・換算差額等合計	628	353
新株予約権	685	659
純資産合計	1,000,243	974,985
負債純資産合計	3,940,544	3,957,560

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	1,292,724	1,357,017
売上原価	347,603	380,165
売上総利益	945,120	976,852
販売費及び一般管理費	930,853	978,956
営業利益又は営業損失（△）	14,266	△2,104
営業外収益		
受取利息	111	85
受取配当金	33	48
賃貸不動産収入	14,790	11,852
違約金収入	－	4,000
その他	1,675	1,991
営業外収益合計	16,611	17,978
営業外費用		
支払利息	7,486	6,612
社債利息	318	215
賃貸不動産費用	13,756	11,590
その他	1,983	1,431
営業外費用合計	23,544	19,850
経常利益又は経常損失（△）	7,333	△3,976
特別損失		
固定資産除却損	6,654	2,123
特別損失合計	6,654	2,123
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	678	△6,100
法人税、住民税及び事業税	10,652	10,586
法人税等調整額	△79	70
法人税等合計	10,573	10,656
四半期純損失（△）	△9,894	△16,757

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。